

## 平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年6月3日

上場取引所 東

上場会社名 ピーブル株式会社

コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役

(氏名) 桐渕 千鶴子

問合せ先責任者 (役職名) IR担当

(氏名) 飛田 留美子

TEL 03-3862-2768

四半期報告書提出予定日 平成27年6月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年1月期第1四半期の業績(平成27年1月21日～平成27年4月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	928	26.5	113	80.7	113	90.6	72	94.9
27年1月期第1四半期	734	9.8	62	—	59	247.2	37	258.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第1四半期	16.36	—
27年1月期第1四半期	8.40	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第1四半期	2,333	1,867	80.0	426.72
27年1月期	2,463	2,016	81.9	460.85

(参考)自己資本 28年1月期第1四半期 1,867百万円 27年1月期 2,016百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	46.00	46.00
28年1月期	—	—	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年1月期の配当予想につきまして、第2四半期末配当実施の有無につきましては7月中旬に、期末配当予想につきましては通期業績見通しと連動しますため、第3四半期終了し年末商戦を見極めた後に発表させていただきます。

### 3. 平成28年1月期第2四半期の業績予想(平成27年1月21日～平成27年7月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,837	23.0	163	150.9	163	175.2	103	184.3	23.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の通期の業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。このような玩具市場の特性に鑑み、本来第2四半期累計期間とともに通期の業績予想を掲げるべきところ、直近で見通せる第2四半期累計期間の予想のみを掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年1月期1Q	4,437,500 株	27年1月期	4,437,500 株
28年1月期1Q	63,025 株	27年1月期	63,025 株
28年1月期1Q	4,374,475 株	27年1月期1Q	4,374,639 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. 平成28年1月期第2四半期会計期間(平成27年4月21日～平成27年7月20日)及び  
平成28年1月期第2四半期累計期間(平成27年1月21日～平成27年7月20日)の業績予想

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		第2四半期純利益		1株当たり四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
28年1月期第2四半期	909	(19.7)	50	(1,927.8)	50	(-)	32	(-)	7	22
27年1月期第2四半期	760	(7.1)	2	(-)	△0	(-)	△0	(-)	△0	10
28年1月期第2四半期累計	1,837	(23.0)	163	(150.9)	163	(175.2)	103	(184.3)	23	58
27年1月期第2四半期累計	1,493	(8.4)	65	(-)	59	(-)	36	(-)	8	29

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	7
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第1四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
【第1四半期累計期間】	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	8
(1) カテゴリー別販売の状況	8
①第1四半期累計期間売上高	8
②新発売商品及び主なりニューアル商品	8

【添付資料】

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

第1四半期累計期間

(平成27年1月21日～平成27年4月20日)

	金額	対前年同期間比
売上高	928百万円	26.5% 増
営業利益	113百万円	80.7% 増
経常利益	113百万円	90.6% 増
第1四半期純利益	72百万円	94.9% 増

当39期第1四半期は、玩具・自転車両部門がそれぞれに定番品を売り伸ばした事から国内販売が良好に推移しその上に海外販売向けの出荷増も重なったため、総売上高は9億28百万円、前年同期間比26.5%増となりました

当39期の玩具市場は、前年までの人気キャラクターやトレンド品等が一段落して落ち着きを見せ、前年並みを維持している様子が伺えます。当社ではロングセラー品の定番品の補充注文が年明けから活発となり、その傾向は当四半期の4月度まで続き、国内販売の玩具部門売上増につながっています。

玩具部門の定番品の好調は、乳児・知育カテゴリーの“ピタゴラスシリーズ”や、“お米シリーズ”、及び女児玩具の“お人形シリーズ”等のロングセラー商品に顕著にみられました。

“ピタゴラスシリーズ”は、前年末の算数天才少年の話題が尾を引き、標準季節変動の上限を超える回転補充が当四半期で確認されました。“お米シリーズ”は本年度で既に5年目を迎えてますが、今年に入ってその人気俄かに中国まで広がり、日本の販売店で一目置かれる程の注目を集めています。また、当該2シリーズに限らず、低単価ベビー商品等、ロングセラー定番商品への強い支持は、インターネット上に消費者が投稿するお子様の写真や動画に当社製品がロングセラーゆえにより多く登場し、履歴が積み重なっている事も起因しているのではないかと推測しています。乳児カテゴリーでは、当年発売品「なめもみ花子」(税別550円)などは、既にネット投稿でロングセラーの「なめられ太郎」とペアで露出される等、コンセプトやネーミングのユニークさも再度注目されています。

“お人形シリーズ”はパッケージ全面改訂前の前年同期間実績対比で売上が伸びています。お人形購入者が月を追うごとに増加傾向を見せ始め、2月度発売「ちいぼちゃん」(税別4,380円)や3月度発売のギフトに最適「ぼぼちゃんデビューセット」(税別5,300円)等のベーシックなお世話遊び人形が牽引しています。「ちいぼちゃん」は、お人形が寝ている横置きパッケージがお子様人気を集め、「ぼぼちゃんデビューセット」は祖父母購入者に選ばれている等、例年には無かった新規購入者の変化も見られます。人形の増加に伴う周辺道具や着せ替えの購入が付随し売上増に繋がっています。

自転車部門では、市場全般厳しい状況の中、各社製品は値上げを余儀なくされ、当四半期ではPB商品等も続々と値上げされていきました。そうした過程で、当社の定番品の16インチ自転車「ピタンコ自転車」(オープン価格)や足けりライドタイプ自転車「ラクショーライダー」(税別19,800円)のコンセプトが再び見直され、前年まで広がらなかった店舗に当四半期に入って拡販された事が当四半期の売上増に寄与しました。

海外販売では、当第1四半期で中国の旧正月を挟み前後の製造タイミングから、例年より早期の2月度に米国向け出荷が開始しております。その為、当四半期期間では前年に比べ出荷量が前倒されて増加しています。その上にUSドルが前年同期間対比でドル高に動いた分が重なり売上増に貢献しています。

国内販売では、予めヘッジ目的で前年に予約取得したUSドルを仕入決済に充て、円安の原価への直撃を抑えまた、広告費・販促費を前年並みに抑えながら売上は前年以上に増収した事から、営業利益の増益に繋がっています。上述海外販売による増収分が加算され、当四半期の営業利益は1億13百万円、前年同期間対比で80.7%増となりました。

営業利益の増益に伴い、経常利益は1億13百万円、前年同期間対比90.6%増となり、第1四半期純利益は72百万円、前年同期間対比94.9%増となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から1億29百万円減少の23億33百万円となりました。

流動資産は、配当金及び法人税等の支払による現金及び預金が前事業年度末から大きく減少したこと等で21億47百万円となりました。固定資産は金型等の取得を含み、ほぼ前事業年度末と同額の1億86百万円となりました。負債では流動負債で未払法人税等が減少した一方で輸入未着品に伴う買掛金、及び、「その他」に含まれる未払費用等の増加により、負債合計では前事業年度末から20百万円増の、4億67百万円となりました。

純資産合計は四半期純利益の計上及び利益剰余金の配当により、前事業年度末より1億49百万円減少の18億67百万円となり、結果、自己資本比率は80.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、期首より2億80百万円減少し（前第1四半期累計期間比較では8百万円の減少）11億67百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を計上した他、主に売上増に伴う売上債権の増加、たな卸資産の増加に伴う支出および法人税等の支払等により1億20百万円の支出（前年同期間は53百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得による支出により12百万円の支出（前年同期間は11百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金支払により1億48百万円の支出（前年同期間は99百万円の支出）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第1四半期における国内需要の定番品の伸び上がりは、次期第2四半期でなだらかになりつつ継続する予想をしております。その上次期四半期では玩具、自転車共に新製品を集中的に発売・出荷する計画のため、前年並みの海外販売計画と合算しても次期第2四半期会計期間（5~7月度）の総売上高は前年同期間比119%程を予想しています。従いまして、当39期上半期（2~7月度）での売上高予想は前年同期間比で123%を見込んでいます。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)が、平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以降に開始する事業年度より法人税率が変更されることになりました。また、「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に、「東京都都税条例及び東京都都税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」(平成27年東京都条例第93号)が平成27年4月1日にそれぞれ公布され、平成27年4月1日以降に開始する事業年度から事業税率が変更されることになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成28年1月21日から平成29年1月20日までに解消が見込まれる一時差異については従来の35.64%から33.06%に、平成29年1月21日以降に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については従来の35.64%から32.30%になっております。この税率変更による財務諸表に与える影響は軽微です。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年1月20日)	当第1四半期会計期間 (平成27年4月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,446,444	1,167,151
受取手形及び売掛金	423,996	564,705
商品	249,573	302,864
原材料	34,797	30,566
為替予約	108,564	75,301
その他	14,550	7,484
貸倒引当金	△806	△1,073
流動資産合計	2,277,118	2,146,999
固定資産		
有形固定資産	67,122	66,037
無形固定資産	2,471	2,340
投資その他の資産		
投資有価証券	28	28
その他	116,057	117,960
投資その他の資産合計	116,085	117,988
固定資産合計	185,678	186,365
資産合計	2,462,796	2,333,364
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,547	219,451
未払法人税等	126,660	33,984
その他	113,704	158,990
流動負債合計	392,911	412,425
固定負債		
長期末払金	50,000	50,000
繰延税金負債	3,929	4,254
固定負債合計	53,929	54,254
負債合計	446,840	466,679
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,560,556	1,430,903
自己株式	△33,712	△33,712
株主資本合計	1,928,350	1,798,696
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,734	19,525
繰延ヘッジ損益	69,872	48,464
評価・換算差額等合計	87,606	67,989
純資産合計	2,015,956	1,866,686
負債純資産合計	2,462,796	2,333,364



(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年4月20日)
売上高	733,930	928,147
売上原価	445,250	578,259
売上総利益	288,680	349,887
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	42,305	44,082
販売促進費	15,018	14,172
運賃	40,427	37,592
役員報酬	15,261	15,661
給料及び手当	28,197	27,269
支払手数料	12,949	14,304
研究開発費	37,048	42,871
その他	35,122	41,247
販売費及び一般管理費合計	226,328	237,200
営業利益	62,352	112,688
営業外収益		
工事負担金等受入額	1,000	-
受取保険金	-	1,092
その他	313	400
営業外収益合計	1,313	1,492
営業外費用		
為替差損	4,169	796
営業外費用合計	4,169	796
経常利益	59,496	113,383
特別損失		
固定資産除却損	8	-
特別損失合計	8	-
税引前四半期純利益	59,488	113,383
法人税、住民税及び事業税	13,508	32,916
法人税等調整額	9,249	8,894
法人税等合計	22,757	41,810
四半期純利益	36,731	71,573

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年4月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	59,488	113,383
減価償却費	5,884	10,566
売上債権の増減額(△は増加)	△82,483	△140,709
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,937	△49,060
仕入債務の増減額(△は減少)	7,169	66,904
その他	47,306	2,946
小計	31,427	4,031
利息及び配当金の受取額	15	4
法人税等の支払額	△84,084	△123,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,642	△119,829
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,106	△11,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,106	△11,675
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△125	-
配当金の支払額	△99,228	△148,021
その他	18	△221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,335	△148,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,998	233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△166,081	△279,514
現金及び現金同等物の期首残高	1,341,042	1,446,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,174,961	1,166,836

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) カテゴリー別販売の状況

当第1四半期累計期間の販売の状況について、当社は単一セグメントとしているため、カテゴリー別に示すと以下の通りです。

① 第1四半期累計期間売上高 (単位 千円)

カテゴリー名	前第1四半期累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年4月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	255,795	300,516	117.5
女兒玩具	143,335	176,965	123.5
遊具・乗り物	142,043	211,102	148.6
その他・海外販売	192,757	239,564	124.3
合計	733,930	928,147	126.5

② 新発売商品及び主なりニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税別)
乳児・知育玩具	「つけてオン! さわってバン! 知育テレビ」	¥5,900
	ノンキャラベビーシリーズ 「初めて自分で鳴らせるナノチャイム」	¥780
	「頭がよくなるラップ」	¥680
	「なめやすくていいね」	¥550
	「両手でなめたりかんだり」	¥650
	「なめても安心なめもみ花子」	¥550
	「軽い! 遊べる! 持たせて安心」	¥780
	「やぶれない! ほどけない! 指いじり専用ラップ」	¥680
女兒玩具	人形「ちいぼぼちゃん ごくごくミルク&お世話クッションつき」	¥4,380
	「ぼぼちゃんデビューセット」	¥5,300
	着せ替え「気分は仲良し親子 おそろいお出かけセット」	¥1,480
	「ワンちゃんのツーピース」	¥1,280
	「ママになりきりパーフェクトセット」	¥3,680
「お洗たくごっこPlus アイロン&かごつき」	¥3,980	
その他	家具「登れるハイチェア・プレミアム」(グリーン、オレンジ 計2色)	オープン価格